

「萩市子ども・若者総合サポート会議」設立の背景

1. 現 状

現在、子ども・若者を取り巻く環境は、年々、厳しさを増している。萩市内においても、中学校卒業後の進路未決定者や非行傾向のある不登校生徒が増加し、また、高等学校退学者も依然かなりの数で推移している状況である。

さらに、一人親の家庭も増加しつつあり、子育てに不安や問題を抱える家庭も増加傾向にある。

次に、萩市においては、基本的にそれぞれの部署において、各機関が個別に相談窓口を設置し、活動をしている状態であり、また、それぞれの各機関での相談内容も多様化している。実際に個別機関だけの対応では解決が難しく、限界があるため、今まで以上に各機関の連携が強く求められているが、個人情報の問題もあり、なかなか連携しにくい状況である。

2. 「萩市子ども・若者総合サポート会議」の設立について

本市の現状を踏まえ、また、子ども若者を支援している各種関係機関からも、それぞれの機関が連携できる体制を望む声の大きいことから、子ども・若者を自立支援するための連携体制を確立する必要がある。

そのため、萩市では、連携体制を確立するため、平成22年度から内閣府の「子ども・若者支援地域協議会体制整備モデル事業」の採択を受け、子ども・若者育成支援推進法に基づく、「萩市子ども・若者総合サポート会議」を設置することにした。

3. 「萩市子ども・若者総合サポート会議」の目標

「萩市子ども・若者総合サポート会議」を設置することにより、各関係機関が連携し、情報共有をすることで、0～39歳までの子ども・若者の切れ目のない支援ができる。子ども・若者の人口は年々、減少傾向であり、子ども・若者の存在は、今後、益々貴重な存在となる。健全な子ども・若者は、萩市においても貴重な財産であり、子ども・若者を支援することは、萩市の明るい未来につながるものとする。